

様々な物流事情に柔軟に対応する 倉庫自動化ソリューション「Skypod®システム」

製造工程とともに物流工程も自動化し、
全体最適化を！

当社の「Skypodシステム」は、高密度保管・柔軟性の高い設置・ハイパフォーマンスにより、「Just in case」の物流にも強みを発揮します。パーツピッキング、アフターマーケット向けの部品搬送、スペアパーツ、メンテナンス部品、完成品と半完成品、拠点間物流と、多岐にわたる製品・物流事情に対応可能です。

世界中のリーディングカンパニーが、
軒並みSkypodを導入し、ビジネスをさらに加速させています。

第3回

スマート物流 EXPO

SLE

2024

物流DX/ロボット/カーボンニュートラル展

会期 24.1.24(水)～26(金)
10:00 - 17:00

会場 東京ビッグサイト 西展示場

ブース W72-52

3次元立体走行自動搬送ロボット「Skypod」が自走し、自らラックを昇降して、商材の入ったピンを取り出す様子を直接ご覧いただけます。

出展社セミナー

開催日時 1月26日(金) 11:00 - 11:30

講演者 Exotec Nihon株式会社 取締役社長 立脇 竜

会場 西4ホール「新製品・新技術セミナー ～New Tech Trend～」会場

演題 日本の優良企業に学ぼう！2024年問題とその先10年の物流倉庫運用

展示会出展情報：詳細はこちら▶

QRコード

EXOTEC
https://www.exotec.com/jp
marketing.japan@exotec.com

Exotec®は2015年にフランスで創業し、19年に日本進出したグローバル・ロボティクス企業。3次元立体走行自動搬送ロボット「Skypod」による倉庫自動化ソリューション「Skypodシステム」を事業の柱とし、15カ国・100以上の顧客拠点を稼働している。日本ではユニクロが初採用し、ヨドバシカメラ、三井不動産など大手企業が導入を決定し設置を進めている。展示会ではSkypodの実機を展示。自動で床面を走行し、ラックを昇降して商材を取り出す様子を見ることができ。

azbil
人を中心としたオートメーション

あすみる、
アズビル。

オートメーションで未来を描く

アズビルは、計測・制御技術を通して、安心・快適の実現と地球環境に寄与してきました。これからも、お客さまに寄り添い、お客さまの現場における価値の創造により、持続可能な社会の実現に貢献します。

アズビル株式会社

Factory Innovation Week など あす開幕

東京ビッグサイト

スマート物流EXPO

EXOTEC Nihon

EXOTECは2015年にフランスで創業し、19年に日本進出したグローバル・ロボティクス企業。3次元立体走行自動搬送ロボット「Skypod」による倉庫自動化ソリューション「Skypodシステム」を事業の柱とし、15カ国・100カ所以上の顧客拠点を稼働している。日本ではユニクロが初採用し、ヨドバシカメラ、三井不動産など大手企業が導入を決定し設置を進めている。展示会ではSkypodの実機を展示。自動で床面を走行し、ラックを昇降して商材を取り出す様子を見ることができ。

スマート工場EXPO

アズビル

アズビルは長年培ってきたオートメーション技術に人工知能（AI）技術を融合し、従来のオートメーションでは到達できない超生産性とサステナブルな生産空間、ウェルネス向上を実現する仮想パートナー「ものづくり自律化システム」を提案する。

展示会会場では「オートメーションの未来地図」自律化で創る超生産性とサステナブルな生産空間」をテーマに掲げる。生産空間における自律化システムのコンセプトと、工場運営の3領域（生産管理、品質管理、設備管理）をAIが自律的に代行。人の介入を最小化し、従事する人のウェルネス向上に貢献する「ものづくり自律化システム」の実像を紹介する。



「スマート工場EXPO」は物流・倉庫のデジタル変革（DX）化、脱炭素化、自動化、品質の安定化などの実現が期待できる。

「グリーンファクトリーEXPO」は、工場のカーボンニュートラル（CO₂削減、温室効果ガス排出量実質ゼロ）や省エネルギー化を達成するための製品や技術、サービスが一堂に集まる。

工場内の安全化や省人化、自動化、品質の安定化に期待できる。（第7回スマート工場EXPO）

スマート物流EXPO

自動・省人化技術 集結
「2024年問題」に挑む

「スマート工場EXPO」にはIoT（モノのインターネット）や人工知能（AI）による遠隔監視・予兆保全・見える化を行うシステムや、生産管理システムなどの現場におけるDXを実現する技術が集結する。これらを導入することで、工場内の安全化や省人化、品質の安定化などの実現が期待できる。

「スマート工場EXPO」は工場全体のエネルギーを管理するEMS（ファクトリー・エネリジー・マネジメント・システム）や、二酸化炭素（CO₂）・エネルギーを見える化する製品などが出展される。

バーの人手不足や労働環境改善への対応が課題になっている。これらの課題解決をサポートする自動化や省人化、デジタル化などの提案に期待が高まっている。

第8回「ロボテックス・ロボット（開発）・（活用）展」、第8回「スマート工場EXPO・IoT/AI/FAによる製造革新展」、第2回「グリーンファクトリーEXPO・製造カーボンニュートラル・GX展」からなる「Factory Innovation Week 2024」と、同時開催の第10回「ウェアラブルEXPO・ウェアラブル（開発）・（活用）展」、第3回「スマート物流EXPO・物流DX/ロボット/カーボンニュートラル展」が24日から26日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイト西展示棟1・4ホールで行われる。主催はRX Japan。開場時間は10時から17時まで。入場料は5000円（招待券持参者は無料）。招待券はホームページから無料で入手できる。

工場の安全化 生産現場のDX実現

「ウェアラブルEXPO」はウェアラブルデバイスを活用した業務効率化・健康管理を行うソリューションや、ウェアラブル向けの部品・材料などが展示される。健康に対する意識の高まりからウェアラブル市場の拡大が見込まれている。これらの需要に応えるさまざまな関連製品・技術を提案する。

カンファレンス一覧（一部抜粋）

Factory Innovation Week特別講演	
12：30～13：40 スコープ3を見据えたモノづくりカーボンニュートラルへの挑戦 取引先様と共に挑むモノづくりカーボンニュートラル デンソー 生産革新センター 統括部長 松永 泰明	12：30～13：40 化石燃料の脱却からGXへ。日本の道筋 グリーントランスフォーメーション（GX）実現に向けて 経済産業省 産業技術環境局 GX推進企画室長 荻野 洋平
製造のグリーン化：バリューチェーン全体の脱炭素化へ向けてのDX GETECH Technology/TCL Industrial Holdings CEO/Vice President Jun He	15：00～16：10 北九州市の中小企業が進む未来への道 ～デジタル化・自動化・脱炭素化の取り組み～
15：00～16：30 工場におけるロボット導入・活用事例〈後半ディスカッション〉 3D・DX化による設計手法と実例 三井物産 代表取締役社長 日本ロボットシステムインテグレーション協会 会長 久保田 和雄	今日と同じ明日はない、価値創造型経営～廃棄物処理業編～ 西原商事ホールディングス 取締役企画部長 成田 詩歩
中小企業における自動化システム導入事例のご紹介 三井物産 マシンテック 技術営業部 エンジニアリングアドバイザー 吉永 奨	中小企業の利益につながるスマート工場取り組み事例 松本工業 業務本部 取締役副社長業務本部長COO 館下 繁仁
ロボットとは、多品種少量生産の省力化装置である。 高丸工業 代表取締役 高丸 正	北九州市のロボット導入・DX推進支援施策 北九州市 産業経済局地域経済振興部次世代産業推進課 ロボット・DX推進担当係長 佐藤 友法
鍛造工場における重労働・悪環境作業の改善事例 根岸工業所 代表取締役 佐藤 輝貴	
10：00～11：20 日欧TOPメーカーが目指すロボット社会の実現 技術は ロボットの「使いやすさ」のために ～「人・機械・ロボット」が連携する世界の実現～ ファナック ロボット事業本部 専務執行役員 ロボット事業本部長 稲葉 清典	
12：30～13：40 生成AIが製造業にもたらすインパクトとは？ 生成 AI のインパクトと製造現場に与える影響を考える 日本マイクロソフト 業務執行役員 エバングелиスト 西脇 哲哉	
最新テクノロジーを企業に持ち込むには：社内生成AI（ConnectAI）の活用実績と今後 パナソニック コネクト 執行役員 CIO IT・デジタル推進本部 マネージングダイレクター 河野 昭彦	
15：00～16：10 中小工場の脱炭素への挑戦 ～実際の取り組みから分かること～ 町工場が取り組む、脱炭素経営とは 協発工業 代表取締役 柿本 浩	
秘伝！99%CO ₂ 削減の術 ～知識ゼロからの脱炭素化への挑戦の全記録～ 来ハトメ工業 管理部 課長 兼 ISO9001管理責任者 兼 EA21環境管理責任者 石原 雅隆	

スマート物流 EXPO 特別講演	
15：00～16：30 【グリーン物流を学ぶ】 EV導入・効果・課題についてトップ企業が語る 【共同講演】 GI基金事業；電動商用車の普及拡大に向けた課題解決の取組み （商用車x電動化xDX） 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO） 省エネルギー部 運輸・超電導グループ 主任研究員 内海 敦子 ヤマト運輸 グリーンイノベーション開発部 グリーンイノベーション開発グループシニアマネージャー 高野 茂幸 セブン-イレブン・ジャパン QC・物流管理本部 物流部 総括マネージャー 久生 貴史	
サステナブル経営の実現に向けたグリーン物流の推進 ヤマト運輸 執行役員（グリーンイノベーション開発担当） 福田 靖	
10：00～11：10 【事例紹介】 物流施設の最適化・自動化 ～プロジェクトマネージャーが語る！～ 物流センター自動化と、環境変化に立ち向かう強いチームづくり オリンパス SCM ロジスティクス&トランスポートソリューション ジャパン ディレクター 原 英一	
デジタルデータを活用した花王サプライチェーンの最適化・自動化に向けた取り組み 花王 SCM部門 デジタルイノベーションプロジェクト チーフデータサイエンティスト 田坂 晃一	
15：00～16：10 デジタル革新で成功。中小企業のための運輸DX事例！ 小さな変革をつなげて挑む ～福岡運輸 物流DXの取組み～ 福岡運輸 業務推進部 システム課 課長 生津 瑞美	
DXの推進による紙・ホワイトボード脱却と生産性向上 柳川合同 代表取締役 荒巻 哲也	

※敬称略 ※1月19日現在